

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	人づくり	政策名	2 チャレンジ精神あふれる、困難にくじけない子どもの育成
政策目標	将来の夢や目標をしっかりと持って、困難にくじけず力強い未来を切り拓いていく、チャレンジ精神あふれる子どもが育っていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1)課題解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成	■世界で活躍する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 英語・グローバル教育充実事業(再掲) 高度な英語力を持ち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る ICT教育推進事業(再掲) デジタルコンテンツの活用促進や、教員のICT活用指導力の向上など、ICT教育環境の一層の充実 とやま科学オリンピックの開催(再掲) 中・高校生を対象に、数学・理科分野を中心とした幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会の開催 とやまの高校生留学促進事業(再掲) 高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る ■科学技術に対する理解促進 <ul style="list-style-type: none"> とやま科学技術週間の実施 毎年、7月21日から8月10日を「とやま科学技術週間」と位置づけ、県、市町村、大学、科学館等で開催される科学技術関連イベントをPR 夏休み子供科学研究室 県立大学、県試験研究機関を開放し、小中学生等を対象に研究員が実験、観察等の指導 きらめきエンジニア事業 県立大学の教員や県試験研究機関の研究員、民間研究員が、小中学校や高等学校へ出向いて科学技術に関する講義や実験・実習を実施 	1,888 17,284 8,515 5,147 500 504
(2)社会に貢献し、信頼される人材の育成	■社会貢献や政治参加意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> 【拡】社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(再掲) 県内全公立中学2年生(義務教育学校8年生を含む)全員が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加 高校生とやま県議会事業 高校生の代表40人が議会体験や意見交換をすることで、高校生の主権者教育の機会を創出 	14,900 880
(3)スポーツ分野における人材の育成	■本県スポーツ界を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 未来のアスリート発掘事業(再掲) 将来のスポーツ界を担う人材の発掘・育成を目的に、スポーツ能力に優れた児童に対する運動プログラム等の実施を支援 とやまスポーツ道場事業(再掲) 豊かな素質を持つ中・高校生選手を長期的に育成・強化することを目的に、県内スポーツ拠点施設等を活用した、競技別強化練習会等の実施を支援 	6,000 20,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
求められる英語力を有する生徒の割合(再掲)	中3:43.8% 高3:59.3%	中3:50%以上 高3:50%以上	中3:50%以上 高3:60%以上	中学3年生でCEFR A1レベル相当(実用英語技能検定3級等)以上、高校3年生でCEFR A2レベル相当(実用英語技能検定準2級等)以上の英語力を有する生徒の割合
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の実施状況(中学校)(再掲)	全校で実施(R1)	現状維持	現状維持	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を実施している中学校、義務教育学校の割合 ※現況:R3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため78校中22校のみ実施
未来のアスリート指定児童数(再掲)(H17年度事業開始からの累計)	1,099人	1,103人	1,300人	未来のアスリート発掘事業における指定児童数(スポーツ能力に優れた小学生男女を対象に指定)